

## MODALITY

➤ 熱, 朝

➤ 夜, 妊娠, 感情的ストレス, 寒さ

## RELATIONS

・ Antidote : Nux vomica

# Colocynthis コロシンシス [腹部の痙攣, 体を折り曲げる]

Citrullus colocynthis Schrad

Cucumis colocynthis C.N., Colocynthis vulgaris Ch

## BACKGROUND

このレメディは, Citrullus colocynthis (ニガウリ), コロシントの実の皮からつくられます。一般名は Colocynth, bitter apple, bitter cucumber などと呼ばれています。もともと, アフリカ北部からシナイ半島, インド北西部にかけての砂漠地帯原産ですが, 今は世界中の暑く乾燥した砂地に生育しているウリ科の植物です。

同じウリ科のレメディには, Bryonia があります。スイカと同じ属で, 葉, 花, 果実ともに, 大きさを別にすればスイカに似ていて, 茎は地面をはって四方に長く伸び, 分枝していきます。コロシントウリは, とても長い根を地中深く伸ばして水脈にまで到達させるので, 砂漠の中でも育つことができます。

コロシントの実球形で直径10cmほどのリング大の大きさですが, サイズにばらつきがあります。果肉は, きわめて苦いようです。果皮は, 薄くて硬い皮をもち, 緑色で黄緑色の縞模様があり, 熟すと黄色くなります。種子は, 長さ1cmほどで黒褐色に熟し, サハラ砂漠ではベドウィン族などが食用にしているようです。学名の種名 colocynthis は, 腸を活動させるという意味があります。コロシントの実は, 古くは古代ギリシアで下剤をはじめ, 躁病, 昏睡までさまざまな用途に使われていたようです。旧約聖書にもこの実の記述があり, 飢饉のときに, この毒性のある実を食用に変えた予言者の話があります。

ところが, 実際にはコロシントの実は激烈な下剤になり, 流産も起こしてしまいます。この果実に含まれるコロシンチンという配糖体  $C_{56}H_{84}O_{23}$  が, 消化管に炎症と有痛性の痙攣を起こし, 重度の腹痛の原因となります。多量の摂取により, 消化管は激しい炎症から壊疽を起こし, 死にいたることもあります。

また, 肝臓や泌尿生殖器系にも炎症を及ぼします。激発する神経痛が神経系の各所に起こります。とくに

神経系では, 三叉神経と大腿神経, 坐骨神経に影響が強く及びます。

## MATERIAL

果実から種を抜いたもの。種には栄養分が多く含まれていますが, レメディには使いません。

## FIRST PROVING

ハーネマン (『Materia Medica Pure』第6巻, 1821)

## MIND

Colocynthis が適する人は, 落ち着きがなく心配症で内気ですが, 簡単にイライラしたり怒ります。怒ったり憤った後に, 腹痛や神経痛などが出ます。とくに, けなされると神経痛が悪化します。また性格的に, 非常にはっきりと正しいことと間違っていることを区別したがります。

## AFFINITY

Colocynthis は, 主に神経系 (とくに三叉神経, 坐骨神経, 腹部, 脊髄など), 消化器系, 卵巣, 腎臓に親和性があります。

## CLINICAL APPLICATIONS

Colocynthis のキーワードは, 「抑圧された怒り」によって引き起こされる症状, 圧迫すると楽になる痙攣, 暖めると楽になる神経痛, 憤りです。

胃や消化器系, 神経系に効果があり, とくに, イライラや怒りを伴う場合に有効なレメディです。200c以上の高いポテンシーでよく効きます。

### ■消化器系

・ 痙攣と吐き気, 下痢: 怒りをぐっと抑圧したとき, 臍の下に強く絞られるような痙攣が, 突然起こります。また, 胆石のような身体的原因による痛みの場

合もあります。痛みは体を二つ折りにして改善されます。苦味を口に感じる場合があります。

- ・子供の胃痛、疝痛：激しい痛みで、泣き叫び、吐いてしまうことがあります。ガスが貯留しているときは、圧迫してガスを出すと楽になります。
- ・下痢：痛みと強いしぶりを伴います。
- ・過敏性腸症候群
- ・胆石

#### ■神経系

- ・顔面神経痛：顔の右側の神経痛に使います。耳まで痛みが広がる場合があります。ときに頭痛を伴います。
- ・生理痛など下腹部や骨盤周辺の痙攣や鋭い痛み
- ・月経困難症：極度の怒りによって生理が止まってしまう場合にも。
- ・神経痛：通常右側の足の神経痛や坐骨神経痛、腎臓・股関節・骨盤の痛み、顔面神経痛にも使用します。神経痛の後に、しびれる感覚を伴います。
- ・股関節形成不全やレッグ・ペルテスにも、他のレメディと併用して使います。
- ・痛む部分を強く圧迫したり、体を折り曲げると楽になるもの
- ・イライラ、不機嫌、怒りから起こる慢性的な病気

- ・めまい：頭を左側に向けるとめまいがします。

#### ■泌尿生殖器系

- ・腎臓痛
- ・月経困難症：有痛性痙攣があり、体を折り曲げたり、温めたり、強く圧迫すると改善されます。飲食で悪化します。感情的な激しい怒りを抑え込むことで、生理が止まってしまうこともあります。

#### MODALITY

- ▶ 患部の強い圧迫、暑さ、患部を温めること、コーヒーを飲むこと、運動、体を二つ折りに曲げることなど
- ◀ 怒りや憤り、休息、痛みのないほうを下にして寝ること、生のフルーツを食べること、暑いときに氷水を飲むこと、隙間風、排尿前後、夜など

#### RELATIONS

- ・ Complementary : Causticum, Chamomilla, Staphysagria
- ・ Antidoted by : Camphora, Causticum, Chamomilla, Coffea, Opium, Staphysagria
- ・ It antidotes : Causticum, 鉛中毒

## Condurango コンズランゴ [胃や食道の潰瘍]

Marsdenia condurango Reichb.f.

#### BACK GROUND

Condurangoは、南米原産、とくにコロンビア、ペルー、エクアドルのアンデス山脈北部に多く自生する、カガイモ科キジョラン属の落葉性蔓性低木、コンズランゴです。多くは、標高1,000～2,000m地帯に自生しています。

この植物の樹皮は、古くから先住民に、健胃のための薬として使われてきました。この樹皮は、苦味があり、健胃作用、唾液分泌促進作用、胃液分泌促進作用が認められています。これらの作用によって、食欲が増し、消化能力が高まります。

またこの植物には、肝臓に対する強壮作用や癭痕形成、抗腫瘍作用なども認められています。とくに抗腫瘍作用では、肉腫や腺癌に対する作用が実験によって確認されています。

#### MATERIAL

この植物の樹皮。マザーティンクチャーに含まれる主な有効成分には、コンズランギン、コンズリトール、コンズランゴゲニン、各種ステロール、トリペルテン、タンニン、各種精油などがあります。このうち、コンズランギンは、健胃作用や胃痛を抑える作用がよく知られています。

#### AFFINITY

Condurangoは、粘膜（とくに胃、食道、口腔）に作用します。

#### CLINICAL APPLICATIONS

臨床では、胃や食道、そして皮膚と粘膜の移行部（口や肛門など）の潰瘍病変に使用されます。